



フエ中央病院に対する新型コロナウイルス感染症対策のための支援

2021年9月1日

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

国際協力機構(JICA)は、9月1日、(技術協力)「フエ中央病院新型コロナウイルス感染症対応能力向上プロジェクト」を開始しました。プロジェクトは、2021年9月～2022年3月までの7か月間実施される予定で、フエ中央病院の医療機材の整備とともに、医療機材管理の人材育成を行うものです(総額2億円相当)。

本プロジェクトで整備される医療機材は、フエ中央病院で受け入れを行う新型コロナウイルス感染症重症患者に対し使用が想定されている、ECMO(体外式膜型人工肺)、人工呼吸器、患者監視装置や救急車、ワクチン保管のための超低温冷凍庫等です。また、フエ中央病院の医療機材管理部に対し遠隔で医療機材管理研修を実施する予定です。

フエ中央病院のファム・ニュー・ヒエップ院長は、「フエ中央病院は新型コロナウイルス感染症に対する隔離・治療センターを迅速に設置し、診断・治療のニーズに応えるために資機材を動員していますが、常に医療機器が不足しています。従って、フエ中央病院の能力強化に寄与するJICAの支援は、医療サービスの質の向上に重要かつ持続的なインパクトを与えるでしょう」と述べました。

次の感染流行や今後の新興感染症の発生・拡大に備えた中部地域の対応能力の強化は、ベトナムにとって喫緊の課題となっています。中部地域の拠点病院かつ教育病院としての主要な役割を担うフエ中央病院の強化を図ることで、中部地域全体の対応能力の向上を図ることが期待されています。

日本政府とJICAは1990年代より、ベトナム北・中・南部の各地域の拠点病院の機能強化と病院付属の研修センターを通じた地域医療人材の能力向上を図ってきました。フエ中央病院に対しては2005年から2010年にかけて、無償資金協力による新病棟の建設及び医療機材の供与を行うと共に、技術協力による同病院及び傘下の省病院の医療従事者1,000名以上に対する能力強化を実施しました。また今年3月には、新型コロナウイルス感染症の対応能力の強化として、医療資機材の支援を行っています。

JICAは引き続き、日本政府と連携し、新型コロナウイルスを含めた感染症対策への支援に取り組んでまいります。

○本件に関する問い合わせ

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

11Fl., Corner Stone building, 16 Phan Chu Trinh, Hanoi, Vietnam

携帯: (+84-345) 708106 担当: 高木